



を
つ
な
ぬ
ぐ

— 南海地震に備えて —



✕毛

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



いのち 命をつなぐ

～ 南海地震に備えて ～

目次

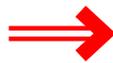
キャラクター紹介	
南海地震って何？	1
南海地震が起きるしくみ	
南海地震は繰り返し発生している	
地震が起きたら	
津波は地震の後にやってくる	9
津波とは	
津波が起きるしくみ	
津波はものすごいスピードでおそってくる	
津波から身を守る	14
津波から身を守るために備えよう	
地域の活動を知ろう	
過去の津波による被害	
高校生から学ぶ	
須崎市のとりくみ	

しょうかい キャラクター紹介



なんかい
南海はやとくん

あか げん き しょうがく ねんせい
明るく元気な小学3年生。
じしん つなみ いっしょう
地震と津波について一生
けんめいべんきょう
懸命勉強している。



ソッセンジャー

さいがい お なんかい
災害が起きると、南海はやとくん
は、ソッセンジャーに変身！みんな
あんぜん ばしょ ひなん
を安全な場所へ避難させる。



はかせ
ホカフ博士

じしん つなみ けんきゅうしゃ
地震や津波の研究者。
きがる かいせつ
気軽に解説してくれる
が、きびしい いちめん
が、厳しい一面も…。



あわてんぼうママ

なんかい
南海はやとくんのおかあさん。
いつもあわてていて、にぎやか。
くち ぐせは「いそ
急がねば…」



のんびりパパ

なんかい
南海はやとくんのおとうさん。
いつものんびりで、ママにしかられている。
くち ぐせは「どうにも、まいった！」



ヘルプちゃん

さいがい お
災害が起きたとき、けがをした
ひとの手あてをしたり、みんな
ひなん ばしょ ゆうどう
を避難場所へ誘導する。



つなみん

ふだんはおとなしいが地震
が起きると手におえない。
きよだい なみ
巨大な波になる。



アスクエイくん

みか ねむ さ
深い眠りから覚めると、
おお じしん お
大きな地震を起こす。



プレートくん

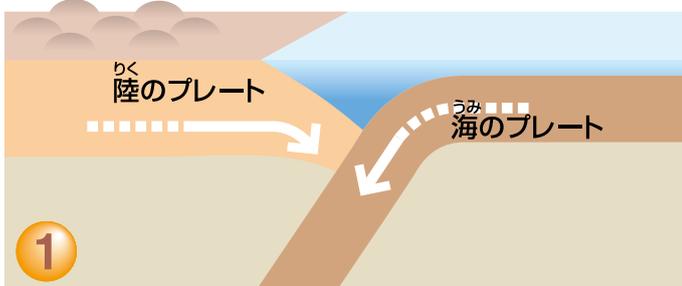
のんびり屋。毎日ゆっくり
ゆっくり動いているよ。

なんかいじしん 南海地震って何？

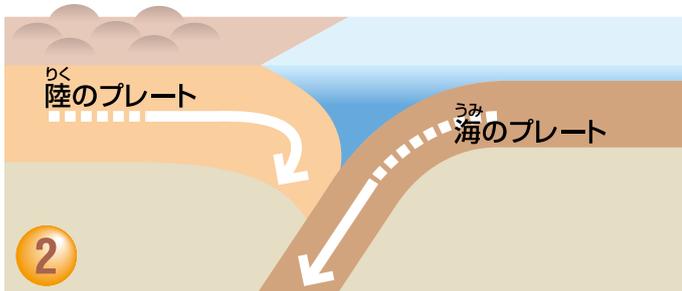
高知県沖合の太平洋には「南海トラフ」と呼ばれるプレートの境目があり、その「南海トラフ」でプレートがはね上がったときに起きる巨大な海底地震のことを「南海トラフの巨大地震」というんだ！



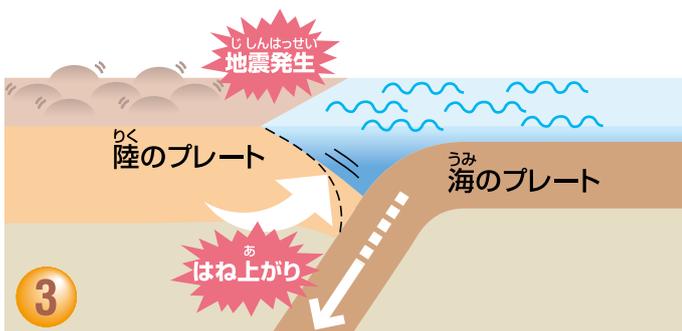
なんかいじしん お 南海地震が起きるしくみ



①海のプレートが陸のプレートの下にもぐりこんで、しずんでいこうとしているね。



②しずみこむ海のプレートの動きに引っぱられて、陸のプレートもだんだんしずみこんでいくんだ。



③ある時点までくると、陸のプレートは、耐えきれなくなって、一気にはね上がるんだ！
このはね上がり（断層運動）によって、大地震が発生するんだよ。



※プレートとは…

地球は、プレートと呼ばれる十数枚のかたい岩盤
におおわられていて、1年に数cm～10cmぐら
いのゆっくりしたスピードで動いているんだ。

南海地震は繰り返し発生している



オレは、おおよそ100年～150年に1回大
きな地震を起こしているのだ！

この前は、1946年（昭和21年）に『昭和
南海地震』という大地震を起こしたんだ。

また、東南海地震、東海地震の発生も近いん
だなあ～。

次の南海地震では、もっと大きな地震を起こ
してやるぞお～。



昔の人は、どんな地震を経験してきたのだろう？
歴史を振り返ってみよう。

1600年以降の南海地震と東南海地震・東海地震

1605年
(慶長9年)
慶長地震

2月3日
(M7.9)



102年



1707年
(宝永4年)
宝永地震

10月28日
(M8.6)



147年



1854年
(安政元年)
安政南海地震

12月24日
(M8.4)



92年



1946年
(昭和21年)
昭和南海地震

12月21日
(M8.0)



1854年 (安政元年)
安政東海地震



12月23日 (M8.4)

32時間後

1944年 (昭和19年)
東南海地震



12月7日 (M7.9)

2年後

～地震のエネルギーの大きさの比較～



ひょうご けんなんぶ じしん
兵庫県南部地震
ほんしん あわ じ だいしんさい
(阪神・淡路大震災)
M7.2



しょうわ なんかい じしん
昭和南海地震
M8.0



とうほく ち ほうたいへいようおき じしん
東北地方太平洋沖地震
ひがし に ほんだいしんさい
(東日本大震災)
M9.0

エネルギー

小

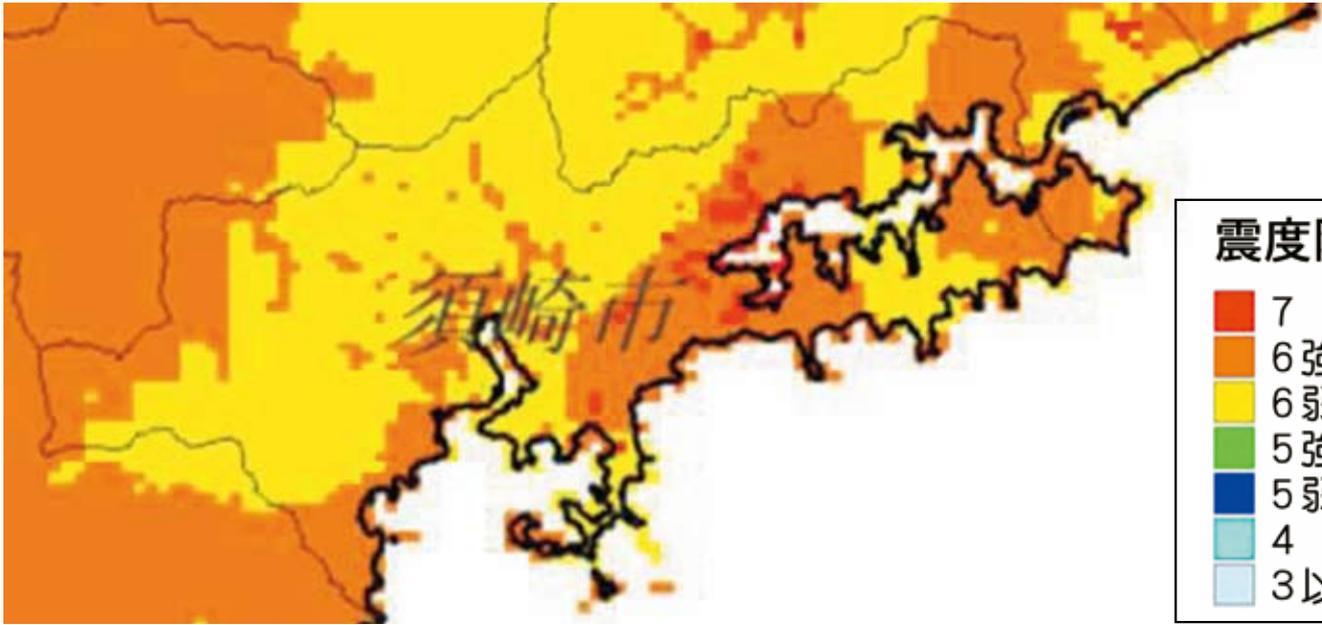
大

※マグニチュード (M) とは、地震の大きさ (エネルギー) を表します。
 マグニチュードが0.2大きいと地震のエネルギーは約2倍、1大きいと
 約32倍になります。



オレはものすごく
ちからづよ
力強いんだぞ～。

～予想されている南海地震の震度～



須崎市では、最大で震度7、多くの地域で震度6弱～震度6強のゆれにおそわれると予想されています。

また、ゆれを感じる時間は、約2～3分とされています。

震度7というのは、立っていることがむずかしいぐらいのゆれです。多くの方が、はわないと動くことができないうらいで、地震のゆれに耐えられない弱い建物は、木造であっても鉄筋コンクリート造りであっても、たおれるものが多くなるとされています。

※震度とは、地震のゆれの大きさを表したものです。



起震車でゆれを体験してみよう



須崎市では、毎年1回一定の期間、高知県から、地震のゆれを体験できる起震車の貸し出しを受けているよ。

貸し出し期間中には、市内の小中学校で、実際に、過去に起こった地震のゆれを体験することができるよ!!

みんなの生まれる前に起こった昭和南海地震や、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）のゆれを体験して、感じたことなどを友達と話し合ってみよう！



じしん お 地震が起きたら…

じしんはっせい だいじ からだ まも
『地震発生！ 大事な身体をまず守ろう！』

○地震が起きたら、まず、ゆれから自分の身を守ることが大事だよ。
自分の身を守るために、どんなことに注意をすればいいかな？

いえ なか (家の中では…)

・地震に強いお家にしよう

※地震でお家がくずれてしまったら、身を守ること安全に避難することもできなくなってしまうよ。

また、近所の人避難するときに通る道をふさいでしまうかもしれないね。

そうならないために、地震に強いお家にしよう。

あなたのお家は、地震に強いお家かな？

お家の人に確認してみよう!!

・家具がたおれてこないように固定しよう。

・窓ガラスが割れて飛び散らないように、フィルムをはろう。

※地震のゆれによって、家具がたおれたり、窓ガラスが飛び散ったりすると、ふだん何気なく通っている玄関までの道がふさがれてしまうので、ゆれがおさまった後、安全に避難することもできなくなるよ。

家具を固定することや、ガラス飛散防止フィルムをはることは、地震のゆれから身を守ることはもちろん、ゆれがおさまった後、素早く避難するためにも必要な対策なんだ。



いえ そと (家の外では…)

- 屋根瓦や、高い建物の窓ガラスなど上から落ちてくるものに注意しよう。
- 地震のゆれで、橋が壊れるかもしれないよ。橋からはなれよう。
また、海岸や川のそばなど特に地盤の軟らかい場所では、地震のゆれによって地下水があふれてくる液状化現象にも注意しよう。
- 電柱や、ブロックべい、自動販売機など、たおれやすいものからはなれよう。



- 地震のゆれから、身を守った後は、素早く避難場所に避難しよう。

※避難場所へ避難するときは、余震に注意しようね。

余震とは、大きな地震のあとに、その近くで発生する地震のことです。

大きな地震の後には、その後、引き続いて発生する余震にも注意が必要だよ。



かんが 考えてみよう! すばや ひなん 素早く避難するために、そな ひつよう どんな備えが必要かな?

地震が起こった時、家具が倒れたり、ガラスが割れたりしてけがをしてしまったら、安全に避難することができないよ。

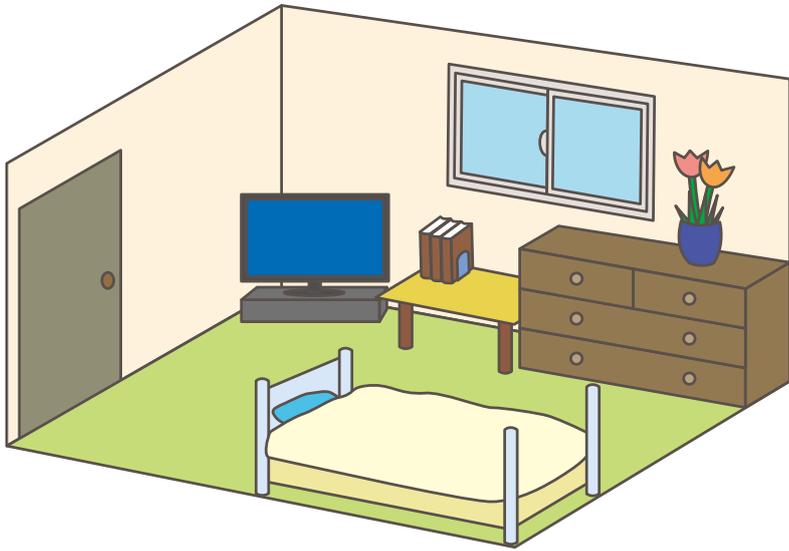
あなたのお家は、安全に避難できるかな?

お父さんやお母さん、家族と一緒に家をチェックしてみよう。

地震の時、自分の部屋は安全かな?

下のイラストを参考に自分の部屋の家具の位置を確かめてみよう!

テレビ、机などの家具は安全な場所に置いてあるかな?



チェック!!

- 寝ている部屋に、家具や重いものはないかい?
- 強いゆれで家具がたおれたりしないかい?
- 窓ガラスや花びんなど、たおれそうなものはないかい?
- すぐ逃げ出せるドアはあるかい?
避難場所は分かるかい?
- すぐに逃げ出せるように部屋に靴やスリッパは置いてあるかな?

レッツ トライ!! (1)

◎ () に入る言葉を考えてみよう。

① 寝る部屋や、お年寄り、子どもがいる部屋には、できるだけ () を置かない。

② 家具がたおれないように () しよう。

③ 地震で、家の () が割れて飛び散らないように、フィルムをはろう。

④ 図上訓練マップ等で、() や () までの道のりを家族で確認しておこう!

④の () には同じ言葉が入ります。

※答えと解説は28ページにあるよ。

つなみ じしん あと 津波は地震の後にやってくる

つなみ なんかい じしん はっせい かなら く 津波は、南海地震が発生したあと必ずやってくるよ。

また、つなみ じしん はっせい なが 津波はものすごいスピードで押し寄せてくるから、家が水につかったり、流されたりするんだ。せいもく なが ひがし おお 材木などが流されて、被害が大きくなることも考えられているよ。だから、じしん お 避難するのことがものすごく大事なんだ！

つなみ 津波とは



つなみ かいてい じしん ひ お なが 津波とは、海底地震などによって引き起こされる長～い、たか なみ かいてい じしん 高い波のことなんだ。海底での地震によって、いくつものなみ う いろいろなほうこうにひろがるんだ。うみ ふか たか ちか 海の深いところでは、高さ1mぐらいたけど、浅瀬に近づくと高さ60m、あつさ 1kmもの「水のかべ」になることもあるよ。

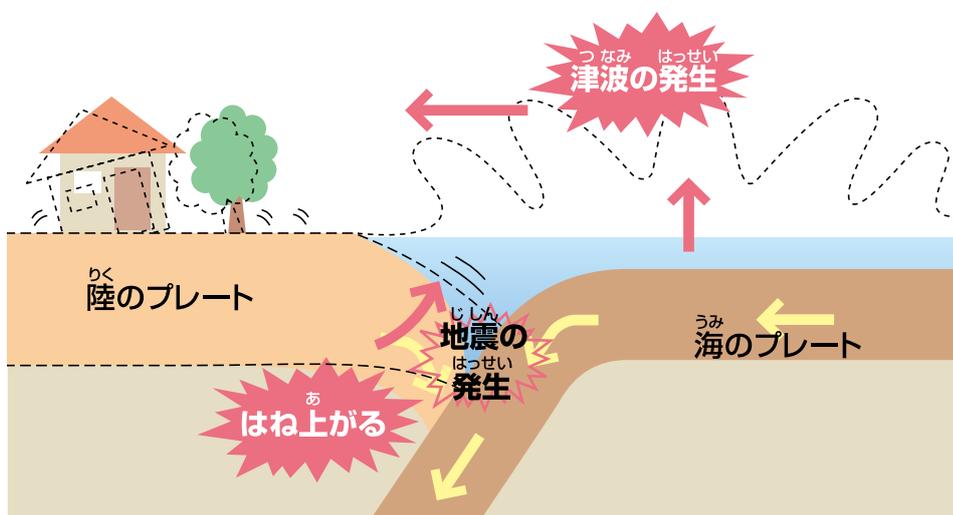
つなみ お 津波が起きるしくみ

さかいめ あ プレートの境目で、プレートがはね上がり、おお じしん はっせい 大地震が発生するんだったよね。

これはね上がり (だんそううんどう) によってかいめん 持ち上げられ、つなみ はっせい 津波が発生するんだ。



プレートのはね上がり と つなみ 津波



つなみ 津波はものすごいスピードでおそってくる

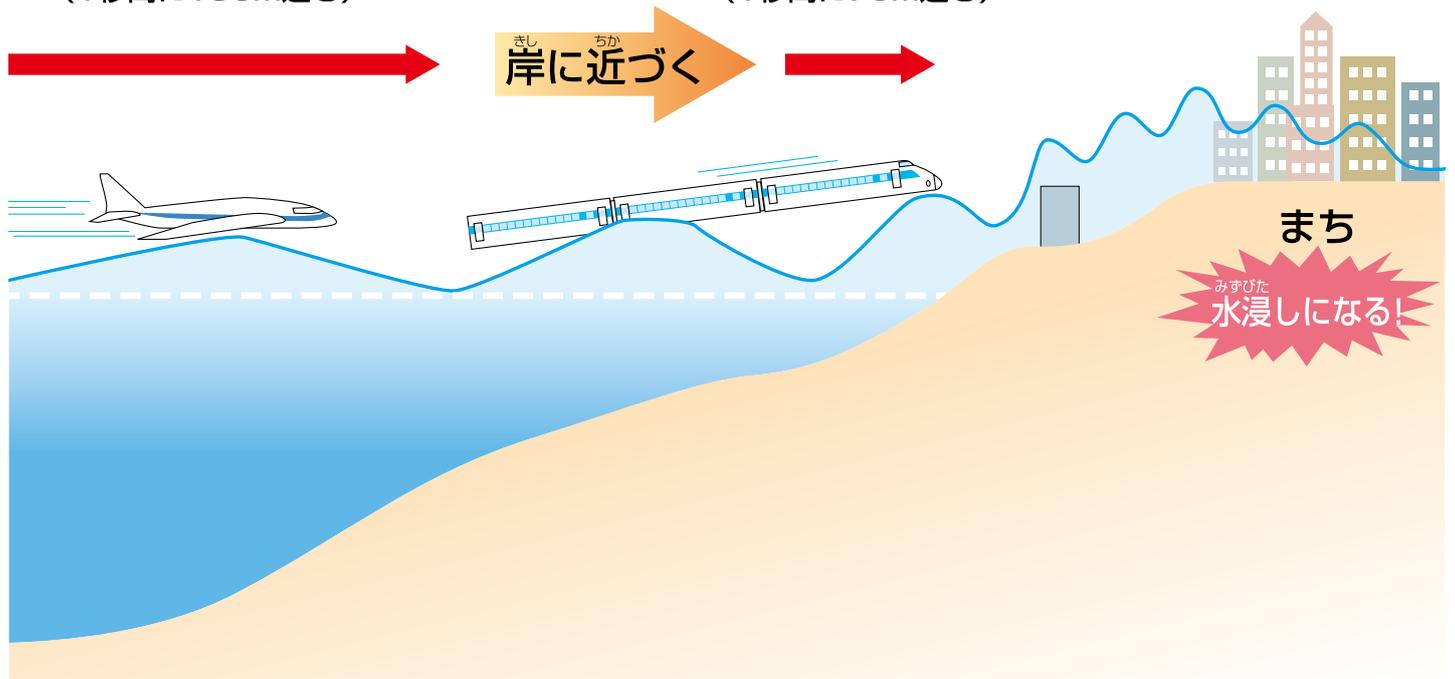
つなみ 津波のスピード



おれは、とっても足が速いんだぞ〜。
海の深いところでは、ジェット機と同じ
じぐらいのスピード、岸に近くなると新
幹線と同じくらいのスピードでおそって
やるぞ〜!!

沖の方ではジェット機なみ
時速700km
(1秒間に190m進む)

岸の近くでは新幹線なみ
時速250km
(1秒間に70m進む)



予想されている南海地震では、
ものすごく大きな波でおそってや
るぞ〜。

～須崎市における30cmの深さまで水につかってしまう津波の到達時間～

(2012年(平成24年)12月高知県による予測)

東日本大震災(2011年(平成23年)M9.0)と同じぐらいの地震が発生した場合

地区	吾桑	多ノ郷	須崎	新莊	安和	南	浦ノ内
場所	須崎東イン ターチェン ジ入口付近	多ノ郷駅	須崎駅	新莊 しょうがっこう 小学校	安和駅	南 しょうちゅうがっこう 小中学校	浦ノ内 ちゅうがっこう 中学校
到達時間	約41分	約32分	約24分	約31分	約32分	約22分	約47分

※これより早くなる可能性もあります。

※30cmの深さまで水につかる津波が来ると、通常、人は歩いて避難することが難しいとされています。



では、津波から身を守るために安全な場所は、どんなところなんだろう！
みんなで一緒に考えてみよう！！

津波のとき安全な所

津波のとき危険な所



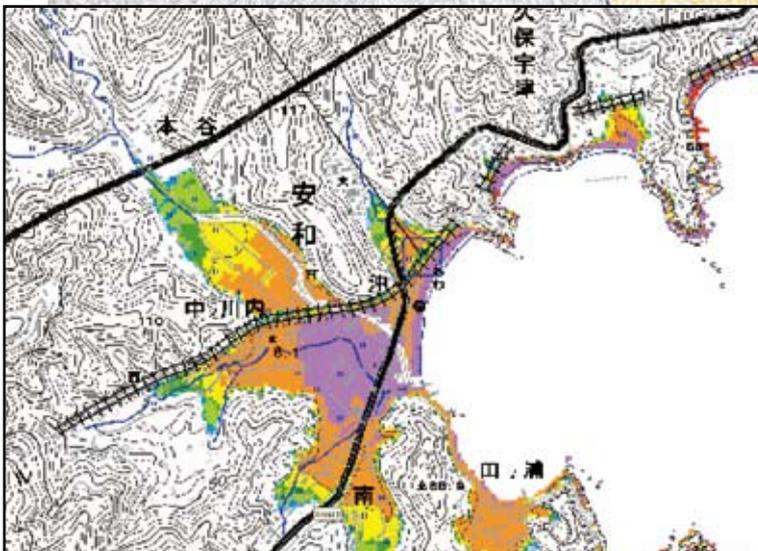
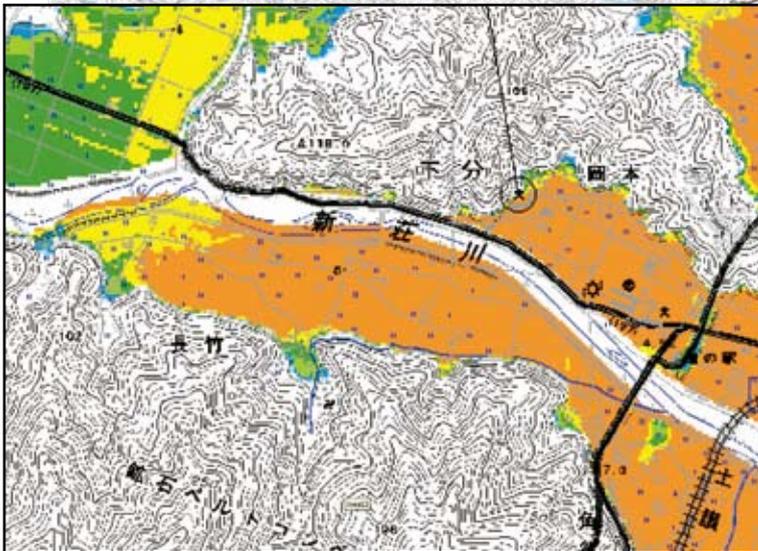
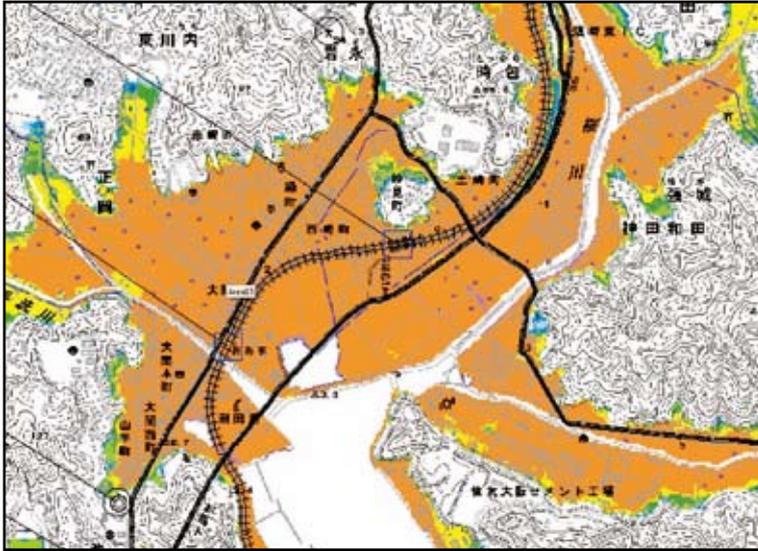
津波は、繰り返しおそってきて、最初に来る波より、次におそってくる波の方が高いこともあるよ。

だから、一度水が引いたからといって、避難場所を離れては、ダメ！！

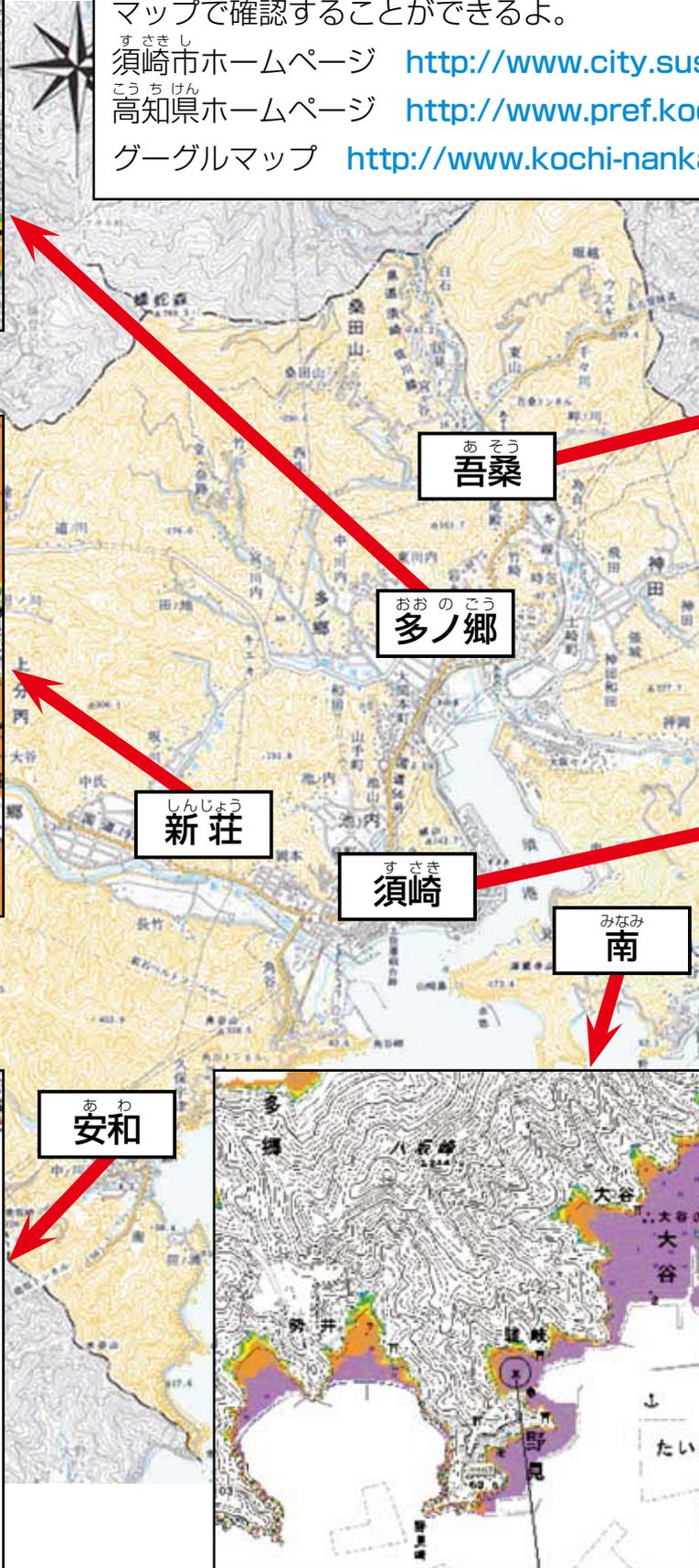
一度避難したら、津波警報が解除されるまでは、避難場所から家へ帰らないようにしようね。



つなみしんすいよそくず しら
津波浸水予測図で調べてみよう



高知県は2012年（平成24年）12月に、
 らの深さまで水につかってしまうのかを予
 須崎市は、津波によってどのくらい水につ
 自分の住んでいるところについて、インタ
 高知県が発表した「津波浸水予測図」は、
 マップで確認することができるよ。
 須崎市ホームページ [http://www.city.susaki.jp/](http://www.city.susaki.kochi.jp/)
 高知県ホームページ <http://www.pref.kochi.jp/>
 グーグルマップ <http://www.kochi-nankai.com/>



つ なみ み まも 津波から身を守る

『ゆれたら、とにかく急いで避難場所へ避難しよう』

津波警報が解除されるまで、避難場所は離れずに!!!

○津波が来るぞ～

※高台や高い建物に逃げろ！

※海や川からはなれる！



※自分のお家以外（例えば、よく買い物に行くお店や友達の家）で地震・津波が起きたら、身を守り、自分で近くの高台（避難場所）へちゃんと避難できるかな？

地震・津波はいつ起こるか分からないよ！

ひとりである時に起こったら、自分の力で避難場所へ避難しないとイケないね。

自分で考えて行動することは、とても大事なことなんだ。

日ごろから、家の近くの避難場所だけでなく、よく外出する場所周辺の避難場所も確認して、ひとりの時でも、素早く避難できるようにしておこう。

市内には、避難場所の方向を示した「避難誘導板」や「避難場所案内板」も設置しているよ。

近くに遊びに行ったときなどに見てみよう！

吾桑地区 津波緊急避難場所



この案内板は、津波緊急避難場所を表示したものです。長い揺れや強い揺れの後は、必ず津波がきますので、少しでも早く避難しましょう。また、津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで、絶対に戻らないでください！
避難路や避難経路、避難場所を事前に確認し、いざというときに素早い避難ができるよう、口頭から備えが大切です！





ひなんばしよあんないばん
避難場所案内板
み
見つけたあ～。

ひなんばしよあんないばん 避難場所案内板 (須崎工業高校生製作)

かんが 考えてみよう！

じしん つなみ お わ
地震・津波はいつ起こるか分からない。
すばや ひなん
いつでも素早く避難できるかな？

レッツ トライ！！ (2)

かぞく ともだち いっしょ かんが
◎家族や友達と一緒に考えてみよう！

にちじょうせいかつ ぼめん じしん つなみ お ひなん ぼしよ
日常生活のいろいろな場面で、地震や津波が起きたとき、避難する場所はどこ？

- がっこう
・学校にいるとき ()
- いえ
・家にいるとき ()
- とうげこう とちゅう
・登下校の途中 ()
- ともだち あそ ぼしよ
・友達とよく遊んでいる場所 ()
- か もの みせ
・よく買い物をするお店 ()
- がいしょく みせ
・よく外食するお店 ()

※28ページの解説を参考にしてね。



パパ!!
どこに避難すれば
良いかなあ～？



あんぜん ひなん ちゅうい 安全に避難するために注意することは？

レッツ トライ!! (3)

◎安全に避難するために、() に入る言葉を考えてみよう。

①家の中から避難するとき割れた () に注意しよう。

②避難する道の途中では、倒れそうな () や足元に注意しよう。

※答えと解説は29ページにあるよ。



じしん つなみ そな じゅんび 地震や津波に備えて、ふだんから準備できるものはなんだろう？

レッツ トライ!! (4)

◎ふだんから身近に用意しておけば、避難するとき便利なものは何だろう？

ヒントを参考に考えてみよう。

①頭を守ってくれるものだよ。 ()

②割れた窓ガラスや食器で足をけがしないように置いておくものだよ。
()

③暗い夜道を避難するときに必要なものだよ。()

④携帯ラジオ、タオルやガーゼ等、避難所生活に必要なものを入れて、ふだんから準備しておくといいね。
()

※答えと解説は29ページにあるよ。



ふだんから用意しておけば、
便利なものね！

え～と…

何があるかなあ～。

ひなんばしよ 避難場所では、どんなことに

き 気をつけたらいいのかな？

『たいへん 大変なときこそ、みんなで助け合おう』

◎ひなんばしよ
避難場所では、まわりのひとのはなしきをきいてこうどうしようね。

◎ひなんばしよ
避難場所には、たくさんのひとが避難してくるよ。

おとしよ
年寄りや、けがをしたひとが避難してくることもあるんだ。

ひなんばしよ
避難してくる人はみんな、じしんやつなみきょうふけいけんたいへん
地震や津波の恐怖を経験し、大変
おも
な思いをしているよ。

ひなんばしよ
避難場所では、たがたすあきょうりよくたいせつ
お互いに助け合い、協力することが大切だね。



ちいき かつどう し 地域の活動を知らう！

ひとりひとりやちいきぐるみでささあうじしゆてきかつどうは、ひとひとのつながりを強めるために、日ごろからひつよう必要なことだよね！

ちいきのひとたちは、「自主防災組織」をつくって、避難場所や避難場所までの道の簡単な整備、講演会の開催など、自分たちのちいきで、いろいろな取り組みをしているよ。

みんなできょうりよくしながら、少しずつそなえることで、さいがいつよちいき地域になっていくんだよ。

みんなも、お父さん、お母さんといっしょさんか一緒に参加してみよう！！



ほくだんしんさいこうえん し さつ
「北淡震災公園」視察



しょうかくんれん じっし
消火訓練の実施



こうえんかい かいさい
講演会の開催

ちいき
地域での
とく り ぐ む ん の 例



ひなんろ せいび
避難路整備



ちいきひと じぶん
地域の人たちも、自分たちでできることは、自分たちでやっているんだね。

きょうりよく たす あ
協力したり、助け合ったりすることは、さいがいお 災 害 が 起 きた と き だ け じ ゃ な く っ て 、 ふ だ ん か ら 、 と て も 大 切 な こ と だ ね 。

じぶん
できることから、始めなくっちゃ！

かこ つなみ ひがい 過去の津波による被害



わたしが住む須崎市は、過去に何回も津波による被害を受けてきたんだ。

1946年（昭和21年）に起きた昭和南海地震津波では、須崎市で58名の方がなくなり、行方不明者3名という大きな被害が発生したんだ。

そのため、津波による被害を忘れないように、須崎市では、昭和南海地震が起きた12月21日を「防災の日」としているんだよ。

かこ お つなみ きぼ すいてい 過去に起きた津波（規模は推定）

名称	発生した日	規模	須崎で分かっている被害
① 白鳳地震津波	684年11月29日	M8.4	詳細は不明
② 仁和地震津波	887年8月26日	M8.6	
③ 康和地震津波	1099年2月22日	M8.0	
④ 正平地震津波	1361年8月3日	M8.4	
⑤ 慶長地震津波	1605年2月3日	M7.9	
⑥ 宝永地震津波	1707年10月28日	M8.4	死者331名 流失家屋432戸など
⑦ 安政地震津波	1854年12月24日	M8.4	死者50名 流失家屋550戸 浸水151戸 流失船舶137隻
⑧ 昭和南海地震津波	1946年12月21日	M8.0	死者58名 流失家屋168戸 浸水1,315戸 流失船舶683隻
⑨ チリ地震津波	1960年5月24日	M8.4	流失家屋2戸 浸水936戸 津波高：4.4m（大間付近）
⑩ 東北地方太平洋沖地震津波	2011年3月11日	M9.0	床上浸水5件、床下浸水11件 車両浸水20台、漁船転覆15隻 養殖用生けすの流出・破損 津波高：最大3.2m

①～⑧の津波は、南海トラフで起こった地震が原因で発生した津波です。

⑨の津波は、1960年（昭和35年）に南米のチリで起きた地震が原因で発生した津波です。

⑩は太平洋三陸沖（東北地方）を震源とする地震が原因で起きた津波です。

かこ つなみ ひが い きねん ひ まな 過去の津波被害の記念碑から学ぶ



すざきしには過去の津波被害の記念碑がいくつもあるんだ。
 地図をたよりにして、実際に記念碑を見に行ってみよう！
 なぜ、昔の人は記念碑を作ったのだろう？
 みんなで一緒に考えてみよう！
 また、私たちの住んでいるところで起きた被害についても、
 図書館やインターネットを使ったり、おじいちゃんやおばあ
 ちゃん（体験した人）に聞いたりして、調べてみよう！

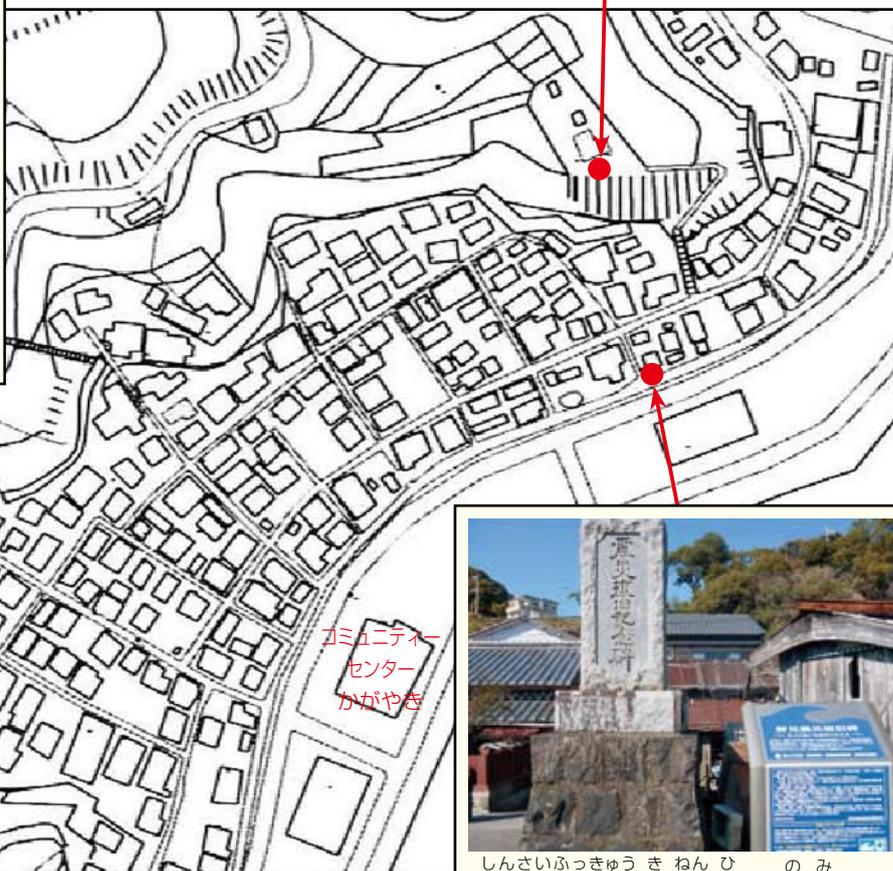
みなみちく つなみ きねんひ 南地区にある津波の記念碑

○の位置にある記念碑まで津波が
 来たんだって!!

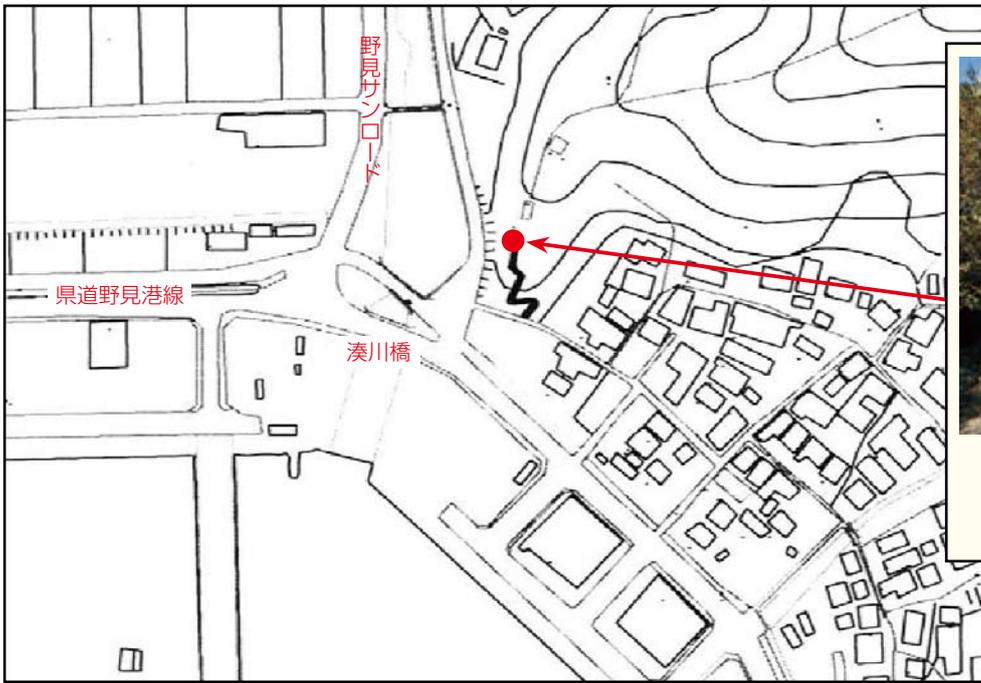
つなみさいこうちょうのあと じんめいぐう
津波最高潮之跡 (神明宮)



さいこうちょうのあと のみこううんじ
最高潮之跡 (野見江雲寺)



しんさいふつきゅう きねんひ のみ
震災復旧記念碑 (野見128)



なんかいじしんきろくひ
南海地震記録碑
 おおたに ころら えびすじんしゃ
 大谷 (小浦) 恵比寿神社

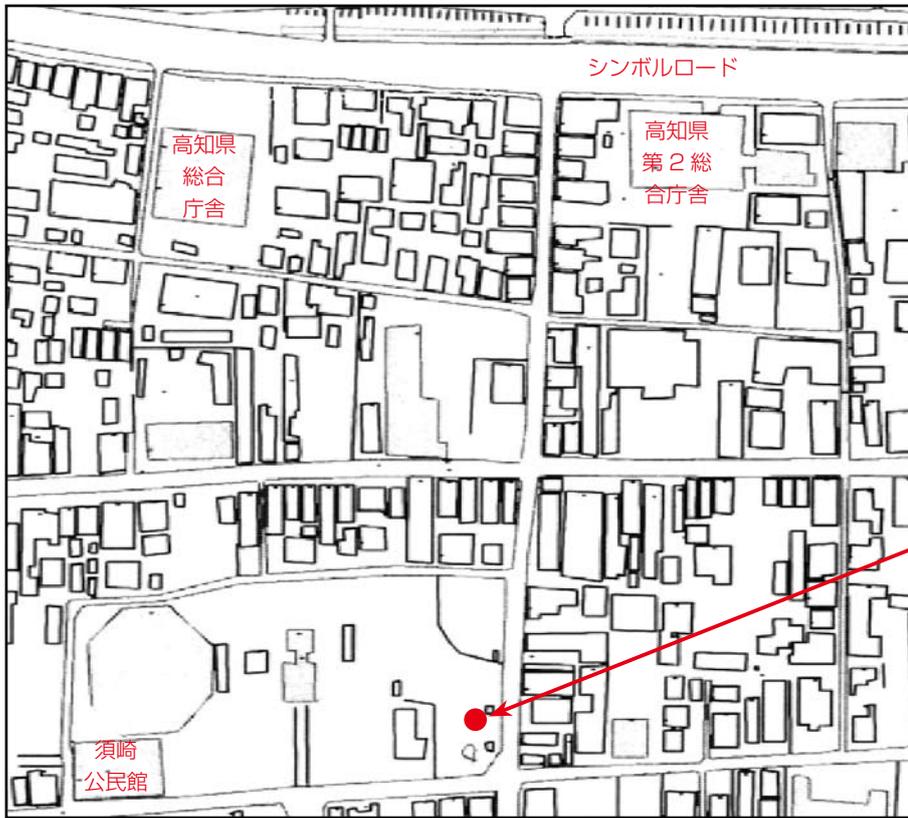
すさきちく つなみ きねんひ
須崎地区にある津波の記念碑



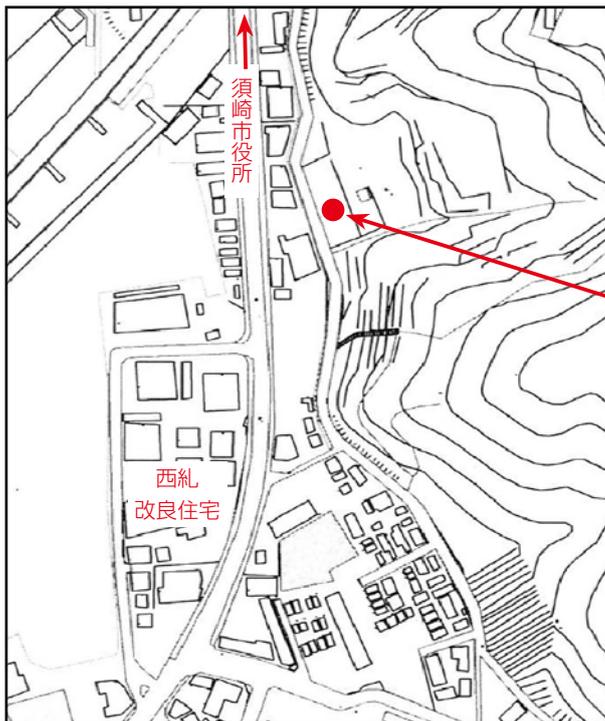
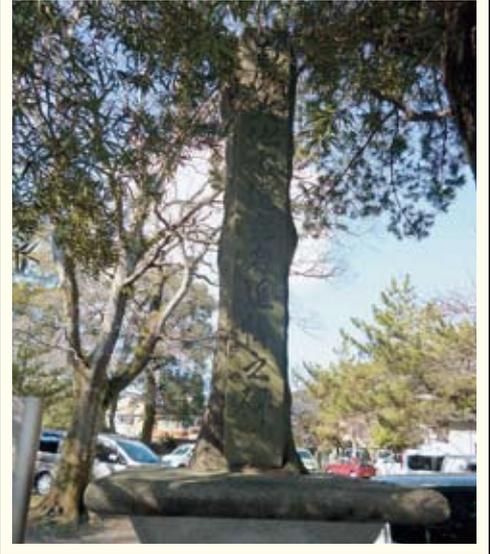
なんかいじしんきろくひ
南海地震記録碑
 はらまちじぞうどう
 (原町地藏堂)



つなみのひしゅんこうきねん
津波之碑 竣工記念
 すさきばしょうじこうえん
 (須崎橋幼児公園)



なんかいおおじしんそうなんしゃついでうのひ
 南海大地震遭難者追悼之碑
すさきはちまんぐう
 (須崎八幡宮)



ほうえいつなみできしのつか
 宝永津波溺死之塚
すさき にしただすまち
 (須崎636 (西糺町))
だいぜんじぼちした
 (大善寺墓地下)



きねんひ とうじ ひがい
 記念碑には、当時の被害の
 ようすや建てられた理由が書か
 れているものもあるよ。
 い 行って調べてみよう！

かこ つなみひがい きろく 過去の津波被害の記録

しょうわ なんかいじしんつなみひがい ようす ～昭和南海地震津波被害の様子～



しんまち
新町



みなとまち (さんぼし)
港町 (棧橋)



おおの ごうえき ぶんきん
多ノ郷駅付近



のみ
野見

とうほくち ほうたいへいようおきじしんつなみひがい ようす ～東北地方太平洋沖地震津波被害の様子～



ふくしまけんそうまし (さんらん)
福島県相馬市 (散乱したがれき)



いわて けんかまいしし (かんべき) ぶんね
岩手県釜石市 (岸壁にうちあげられた船)



みやぎ けん おしかぐんおながわちよう たてもの うえ
宮城県牡鹿郡女川町 (建物の上にうちあげられた車)



みやぎ けんいしのみまし (つなみごかさい) や こ とうしゃ
宮城県石巻市 (津波後火災で焼け焦げた校舎)



2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災では、須崎市で最大3.2mの津波高を観測するなど、その被害は私たちの想像をはるかに超えるものだったんだ。

そして、被災地では、復旧・復興に向けて進んでいる一方で、いまだに行方不明の方がいるなど、被災された方は、現在でも、震災と向き合っ生活を送っているんだ。

須崎高校生のお兄さんやお姉さんは、2012年（平成

24年）宮城県で開催された、全国の高校生が集まってそれぞれの学校の特色ある活動を報告し合う「ハイスクールサミットin東北」に参加し、実際に東日本大震災を経験した高校生のお話から、地震や津波の恐ろしさはもちろん、地震が起こったときに、どのように行動するべきかなど、たくさんのことを学んできたんだ。

みんなも、須崎高校生の感想を参考に、命の大切さや、地震や津波など災害に立ち向かうための心構えについて考えてみよう！



2年生 今津 奈美さん

東北サミットには、県外から来た方や東日本大震災の被害を受けた高校生も参加していました。

被災者から、実際に被害にあった時の状況を「生」で聞いたことは、とても心に残りました。

やはり、「毎日の平凡な生活が幸せだと感じること」が一番だと被災地の高校生は語っていました。

～これから考えるべきことやるべきこと～

- ◎小さい時からの防災への取り組み
- ◎防災意識を高めていくこと

2年生 又川 真夕さん

私が東北サミットで学んだことは、「ゆれがおさまったら、すぐに避難する」ということです。「その時になれば、何とかなる」という考えでは、逃げ遅れてしまいます。

冷静な判断で行動するには、日ごろの訓練に真剣に取り組み、常に「今地震が起きたらどこに逃げるか」ということを頭に置いておくことが、大切です。

～これから考えるべきことやるべきこと～

- ◎とにかく逃げる。
- ◎訓練は、まじめに！
- ◎自分の命は自分で守る。



須崎市の取り組み



須崎市の防災対策を紹介するよ！

水門・津波バリアの設置と避難路の整備



須崎駅裏市道沿いに設置された津波バリア



津波の浸入を少しでも遅らせるために設置された水門



整備された避難路



整備された避難路での避難訓練の様子

須崎市では、少しでも津波が来る時間を遅らせみんなが安全に避難できるように、水門などを建設しているよ。

また、津波によって木材が流出し、漂流物となるのを防ぐために、津波バリアも設置しているんだ。

みんなが出来るだけ早く避難できるよう避難路の整備も急いでいるよ。

災害の発生をいち早く伝えるためのしくみ

地震・津波の情報を伝えることは、避難するための対策として、とても重要なんだ。

とりわけ、次の南海地震では、1分1秒がみんなの生死をわけることになると考えているんだ。だから、災害情報を直接伝達できるように全国瞬時警報システム（J-アラート）を導入し、防災行政無線を通じてみんなに災害情報を伝えているよ。

その情報は、市内25カ所に設置している屋外スピーカーや、みんなのお家にある戸別受信機で聞くことができるよ。



全国瞬時警報システム（J-アラート）



防災行政無線



戸別受信機



屋外拡声子局（スピーカー）

○避難訓練、総合防災訓練の実施

須崎市では、災害が起こったときに備えて、ふだんから避難する道や、避難場所の確認のために、避難訓練を実施しているよ。

また、実際に災害が起こったとき、どのような救助や支援ができるのかを考えるために、大きな災害が起こったと仮定して、警察や消防署をはじめ地域の自主防災組織の方などと一緒に、情報伝達訓練や応急救護訓練を行う総合防災訓練も行っているんだ。

訓練には、高校生のお兄さんやお姉さんも参加して、大人と一緒に何ができるかを考えてくれているよ。

みんなも避難訓練や、総合防災訓練に積極的に参加して、日ごろから災害に備えよう！



総合防災訓練 (応急救護訓練)



総合防災訓練 (ヘリ搬送訓練)



避難訓練

○重点をおいて取り組むこと

- ◎津波から避難するための施設・避難路の整備を急ぎます。
- ◎被害を防ぐ対策をいくつも行き（多重防御）災害時「犠牲者0」を目指します。
- ◎災害は、ひとりの力では乗り越えられません。
自分自身と周りの人、そして行政が、つながり合い、力を合わせて、それぞれの立場で出来ること、しなければならないことを考え、協力することが大切です。
そのような取り組みを強めます。（自助・共助・公助の取り組みの強化）



避難場所入口に設置された避難場所案内板 (須崎高校生製作)

かなら なんと いじしん た む でき かんが
必ずやってくる南海地震に立ち向かうため、出来ることを考えよう！

◎ 正しい知識を身につけよう！

地震・津波の起こるしくみ・過去の地震や地震の種類、過去の津波被害について学習し、正しく理解することが重要だね。

◎ 日ごろから地震や津波について、家族や友達と話し合おう！

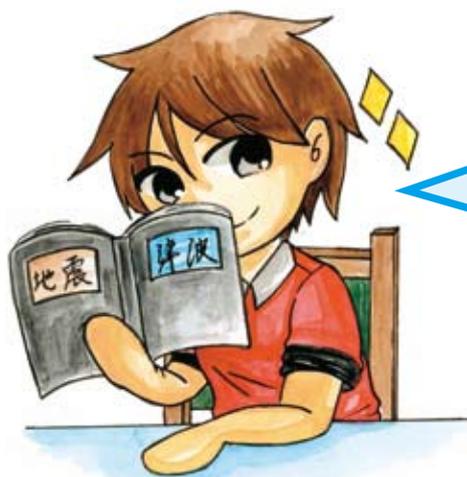
家族や友達と日ごろから地震や津波について話し合い、避難場所や避難場所までの道のりなどを確認しておこう。

「非常持ち出しぶくろ」の中身などについて話し合い、家族で準備しておくことも大事だね！

◎ 学校や地域の訓練に積極的に参加しよう！

地震や津波が起きたとき、素早く避難するためには、日ごろから訓練をしておくことが大切だよ。訓練で避難場所までの道のりや避難にかかる時間を確認しておくことで実際の災害が起きたとき、いち早く避難することができるよ。

ふだんから、学校はもちろん地域で行われる訓練に積極的に参加しよう。また、そういった訓練に参加することで、地域の人とのつながりを大切にしよう。



今まで、地震や津波について、たくさん学習してきたけれど、一番大事なことは、「地震のゆれから身を守り、津波に備えて早く避難する」ことなんだ！

地震や津波はいつ、どこで起こるか分からない。もし、ぼくが一人でいるときに、地震や津波が起っても、ぼくは、自分で考えて、ちゃんと避難場所に避難するよ！

自分の命は自分で守らなくっちゃね！

みんなも、ぼくと一緒に、自分でしっかり考えて行動できる人になろう！！

レッツ トライ!! (1) 答えと解説

① 家具

家具がたおれてくると素早く避難ができなくなるよ。少しでも早く避難できるように寝る部屋やお年寄り、子どもがいる部屋には、大きな家具は、できるだけ置かないようにしましょう。

② 固定

どうしても家具を置かないといけないなら、地震でたおれないように固定しよう。特に、家の外へ出る時に通るろうかなど、部屋から玄関までの通り道が、たおれた家具でふさがれては大変だ。

たおれないようにしっかり固定しておこうね。

③ 窓ガラス

地震で窓ガラスが割れて飛び散らないようにフィルムをはっておこう。

フィルムはホームセンターで売っているよ。

④ 避難場所

地震が起きる前から、避難場所や避難場所までの道のりを家族と一緒に確認しておくことが大切だね。

レッツ トライ!! (2) 解説

※地震や津波はいつ起こるか分からないよ。どこにいても、素早く避難できるように先生や家族、友達と避難場所を確認しておこう。

そして、もし一人の時に地震や津波が起きても、自信を持って自分の決めた避難場所に避難できる力をつけておこう。

※避難場所は、1カ所だけでなくいくつも考えておこう。避難する時、地震で建物がくずれて、いつもの道が通れず、避難場所に行けないかもしれないよ。また、避難場所までの道のりも、いくつか考えておこうね。

避難場所へ行くまでの道の途中には、避難場所や海面からの高さを表示した「地盤（海抜）表示板」や、避難場所の方向を示した「避難誘導板」を設置しているよ。登下校の途中などに、探してみよう！



ひなんゆうどうばん
避難誘導板



じばん かいぼつ ひょうじばん
地盤（海抜）表示板

レッツ トライ!! (3) 答えと解説

① 窓ガラスや食器など

家の中から避難するときは、地震で窓ガラスや食器が割れ、散乱しているかもしれません。割れたガラスや食器などでけがをしないように注意して避難しましょう。

② 建物やブロックべい、自動販売機など

避難場所までの道の途中では、地震で建物やブロックべい、自動販売機などが、たおれそうになっているかもしれません。危険な建物やブロックべいには近づかないよう、足元や道路の状況に注意して避難しましょう。

レッツ トライ!! (4) 答えと解説

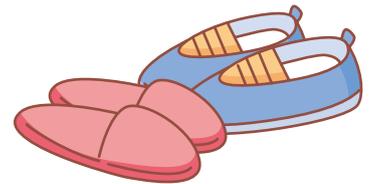
① ぼうし、防災ずきん、ヘルメット

地震のときに一番守らないといけないのは、頭だよ。地震のゆれで上からいろいろなものが落ちてきても頭をけがしないように、ヘルメットなど頭を守るものを用意しておこう。



② くつ、スリッパ

割れた窓ガラスや食器が散乱して、避難するときに足をけがしたら大変だ。素早く避難できるように、くつやスリッパを用意しておこう。



③ 懐中電灯やライト

夜、暗い時に地震が起きたら、真っ暗な道を避難するのは難しいよね。周りを照らしてくれる懐中電灯やライトを用意しておこう。



④ 非常持ち出しぶくろ

地震や津波が起こって一度避難すると、いつ家に帰れるかわからないよね。携帯ラジオやタオルなど、避難所生活で必要最低限のものを入れて用意しておこう。(※ 素早い避難をさまたげないぐらいの重さにしようね。)



わたしが生活する須崎市は、これまでに何度も地震・津波による
大きな被害を受けてきました。

近い将来、必ず起こる南海地震では、強いゆれと大きな津波が予
想されます。

私たちは、この宿命に向き合い、確かな知識を学び、自らの命は
自ら守りぬく行動力を身につけ、次の世代に命をつないでいかなけ
ればなりません。

この冊子をとおして、未来を担う子どもたちや地域の人たちと
いっしょになって考えていきたいと思えます。

須崎市・須崎高校

✕毛

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.





す さきちゅうがっこう す さきこうこうこうどう ひ なんくんれん よう す
須崎中学校・須崎高校合同避難訓練の様子（平成24年12月）

命をつなぐ
～ 南海地震に備えて～

発行：須崎市・須崎高校
2013年（平成25年）3月



キャラクターデザイン：須崎高校美術部